

学びの 広場

地域で学び、活動する
皆さんを応援します
北秋田市教育委員会

- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ



山に響いた 大きな歓声

～大阿仁スポーツフェスタ～

大阿仁小学校と地域の人たちが一緒に楽しむ「大阿仁スポーツフェスタ」が、6月7日に大阿仁小学校の校庭で開かれました。

大阿仁小学校では、小学校の運動会を地域全体の運動会にする取り組みを行っており、今年が2年目。昨年度よりも参加者、観客ともに増えました。

プログラムは、児童の種目に加えて、PTAや地域の人たちの種目、保育園のお遊戯などが盛り込まれ、全校児童と地域の人たちが大きな輪になって踊った阿仁音頭、マイムマイムでは地域のシンボル

「雨降り様」(写真にある大きな露岩^{ろがん})に、みんなの手拍子、掛け声を響かせました。



▲参加者全員で輪になって踊ったフォークダンス

走れ内陸線☆コトバ列車!!

～お座敷列車で詩作の旅～

10月に開かれる国民文化祭・現代詩フェスティバルのイベントとして、6月8日に「走れ内陸線☆コトバ列車!!～詩作の旅～」が行われました。

合川北小学校の児童をはじめ、県北地区の高校生や市民など24人が参加し、講師のアドバイスをしながら、車窓からの新緑の景色を楽しんだり、角館武家屋敷を散策しながら詩作に取り組みました。

帰りの列車内では詩の発表と朗読を行い、詩の中で最も思いを込めた一行を列車内に展示しました。秋田の豊かな自然を題材に、小学生のやわらかな

感性で生み出された詩や、高校生の巧みな比喻表現などで紡ぎだされた詩で列車内は彩られました。



▲列車内で各自が作った詩を発表

上杉「夢叶庵」を訪ねて

～中央公民館定期講座「ふるさと工房」～

中央公民館定期講座「ふるさと工房」の受講生12人が、6月11日に北秋田市上杉の陶芸教室「夢叶庵」で陶芸を体験しました。

講師の関義孝さんは、東京都庁に勤務していた頃から陶芸を始め、いつかは故郷北秋田で工房を開くという夢を叶え、41年ぶりに故郷へUターンし、平成22年に「夢叶庵」をオープンしました。

今回受講生は、ひも状にした粘土を積み上げる「ひも作り」という技法でコーヒーカップづくりに挑戦し、粘土の造形に苦心しながらも、講師の指導

を受けながら世界に一つのオリジナル作品づくりを楽しみました。



▲楽しみながら作品を制作する受講生

第9回北秋田市民俗芸能大会

開申 中央公民館 ☎62・6618

出演者を募集します

北秋田市に伝承されている民俗芸能を保存伝承するため、今年度も民俗芸能大会を開催します。郷土の宝である民俗芸能の魅力を、広く市民に発信しませんか。

日時 8月24日(日) 開演13時30分

※午前中にリハーサル

会場 北秋田市文化会館

募集団体 市内民俗芸能団体(5団体)

締め切り 7月10日(木)

中央公民館定期講座

開申 中央公民館 ☎62・1130

母子のわくわく広場

日時 7月14日(月) 10時～11時30分
内容 入園前(1歳～)の子どもを対象に、絵本の読み聞かせや歌、簡単な工作などを楽しみます。おじいさん、おばあさんも大歓迎です。お気軽にご参加ください。

鷹巣地方史研究会「歴史教室」

開申 中央公民館 ☎62・1130

演題「北秋田の景観に魅せられ」

日時 7月12日(土) 13時30分
会場 中央公民館
講師 山田 實 氏(秋田市)

平成26年度北秋田市成人式

開申 中央公民館 ☎62・1130

日時 8月15日(金) 14時30分

会場 北秋田市文化会館

対象 平成5年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた市内在住者及び市内中学校、国際情報学院中学校を卒業された方

※中学校の卒業名簿などをもとに案内を送付していますが、該当する方で通知が届いていない方は7月25日までにご連絡ください。

○成人式の協力員を募集しています

皆さんの手で思い出に残る成人式にしましょう。

第8回合川地区文化交流会 第26回合川芸文祭

開申 合川公民館 ☎78・2114

【開催日】 7月6日(日)

【会場】 合川公民館

【合川地区文化交流会】

開演 10時30分(開場10時)

出演 北秋田合川祇園太鼓振興会

根森田七福神、シャミガールズ

【合川芸文祭】

開演 12時30分(開場12時)

展示 合川華道部、合川俳句会

演示 市芸術文化協会合川支部加入団体(歌謡、舞踊、三味線、音楽団、太鼓、コーラス、民謡、大正琴ほか)

ふるさとの文化財

76

北秋田市指定無形民俗文化財

(民俗芸能)

○「比立内獅子踊り」

◇所在地 北秋田市阿仁比立内
◇管理者 比立内獅子踊保存会

〈内容〉

獅子踊りと呼んでいますが、大名行列、棒使い、駒踊り、獅子踊りからなっています。

〈起源〉

佐竹氏が常陸(現茨城県)から出羽秋田へ転封になったとき、主君の慰労と崩れがちな士気を高めるために、足軽たちによって披露した道中芸が獅子踊りの始まりと言われています。

〈構成〉

比立内神社の神前で獅子に魂入れを行い、「サーッサー、ドッコイヤッサー」の勇ましい掛け声で行列を組みます。

棒の演目には腰車・行き違いなどがあり、駒踊りには、ぶっこみ・場ならし・三拍子・五拍子・三番叟などがあります。六頭からなる駒踊りは、明治期に浦田地区から伝習したとされており、その後、桂瀬地区から訪れた人からも伝授

され、さらに戸沢ささら(現仙北市西木地区)なども参考にし、現在の比立内獅子踊りができたとされています。

獅子踊りは二匹の獅子が一匹の獅子を巡って奪い合うという物語を表し、五穀豊穡を願って踊るとされています。笛と太鼓だけの囃子により、勇ましい掛け声で演じられます。

〈開催〉

8月14日、比立内神社前を出発し、共同墓地など地域内を練り歩きます。

◇第一回、第四回北秋田市民俗芸能大会へ出演するなど、地区青年会が保存伝承のため引き継いでいる芸能です。

▽平成7年3月6日市指定文化財資料/北秋田市教育委員会作成資料、「日本史辞典(角川新版)」、「秋田民俗芸能アーカイブス(国際教養大学調査・作成)」、保存会聞き取り

▽紹介者/北秋田市文化財保護審議委員 照内捷二



▶比立内獅子踊り